

<ウォークラリー>

- 1 時間
80～130分
- 2 場所
グラウンド～青年の家周辺
- 3 人数・班編成
最大200人程度・1班6人程度で編成（最大40班）
- 4 服装
帽子・体操服等の活動しやすい服・運動靴
- 5 準備物

青年の家が準備 ()は数量		団体又は個人が準備	
班	ファイル (1)	個人	汗拭き用タオル (必要に応じて)
	こま図・解答用紙 (1)	班	筆記用具 (リーダー)
	ゼッケン (1)		
団体	要項・資料 (1)		
	正答表 (1)		
	長なわとび (1)		
	本部用長机 (1)		

6 コース

コース	規定時間(分)	備考
Aコース	40	研修1コマで行う。(50～60人の少人数向き)
Bコース	40	Aコースの逆回り。(多人数で行う場合、Aコースと併用して行う。)
Cコース	130	研修2コマで行う。「海洋博物館」に観察ゾーンとして入場する。隅々まで観察し、後で問題に答える。 ◎『観察ゾーンの問題』は、帰ってきた班に本部で渡し、解かせる。
	130	Cコース・aの逆回り。

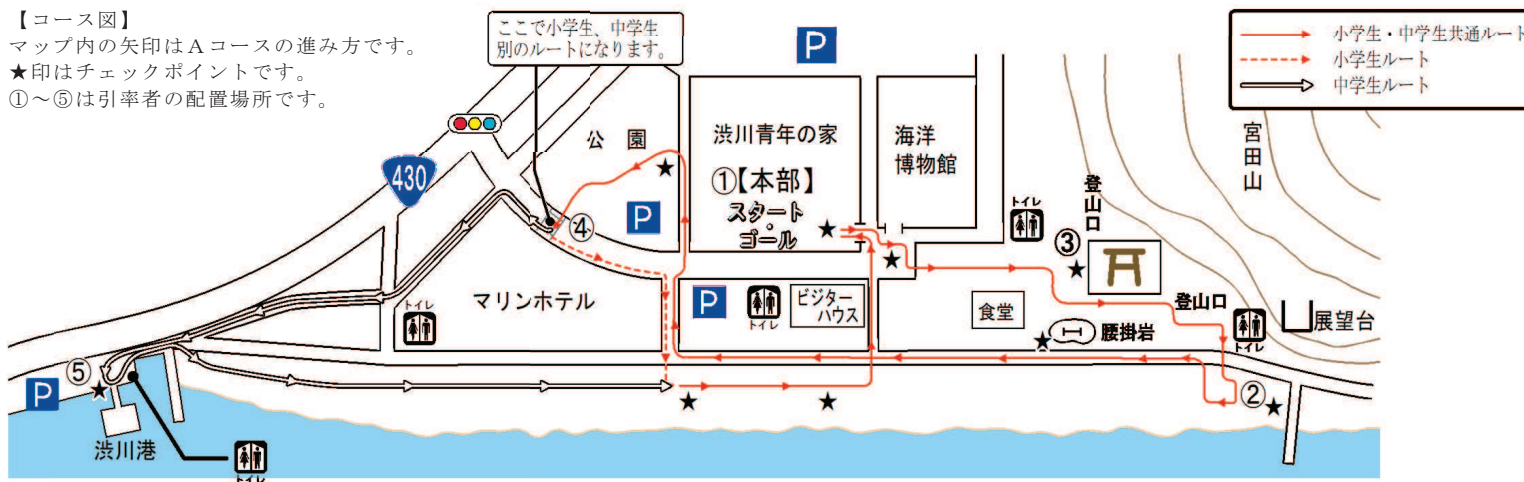
- 7 研修の進め方
 - (1) 班ごとに時間差(1分おき)をつけてスタートします。
 - (2) スタートからゴールまでの所要時間が決まっています。ゴールする時間が早すぎても遅すぎても減点となります。研修生にはこの時間を知らせません。
- 8 引率者の役割分担

配置場所	人数	役割
①グラウンド【本部】	1～2人	○全体指導(研修の説明、スタート・ゴール位置の確認、集計、健康チェック等) ○長なわとびの点数を記入します。 ○ゴール後、解答用紙の採点をします。
②海岸東側突堤付近	1人	○研修生の歌を聴き、採点をします。(10点満点)
③渋川八幡宮前	各1人	○安全確認(人数、歩き方等)
④マリンホテル前		
⑤渋川港 (中学校用コースのみ)		

◎引率者の状況や人数に応じて、安全確保ができるように配置します。引率者の人数が少ない場合は、青年の家職員に相談してください。また、異常があった場合は、青年の家職員に連絡します。

9 その他

- (1) 事前に本冊子(14頁)の練習問題を使って、ウォークラリーについて理解しておきます。
- (2) 各班1人リーダーを決めておきます。
- (3) 天候により研修を中止する場合がありますので、代替の研修を決めておきます。
- (4) Cコースは、「海洋博物館」に入館しますので、**スタート前に入館料の支払いを済ませておきます。**



ウォークラリー 練習問題

1 ウォークラリーとは

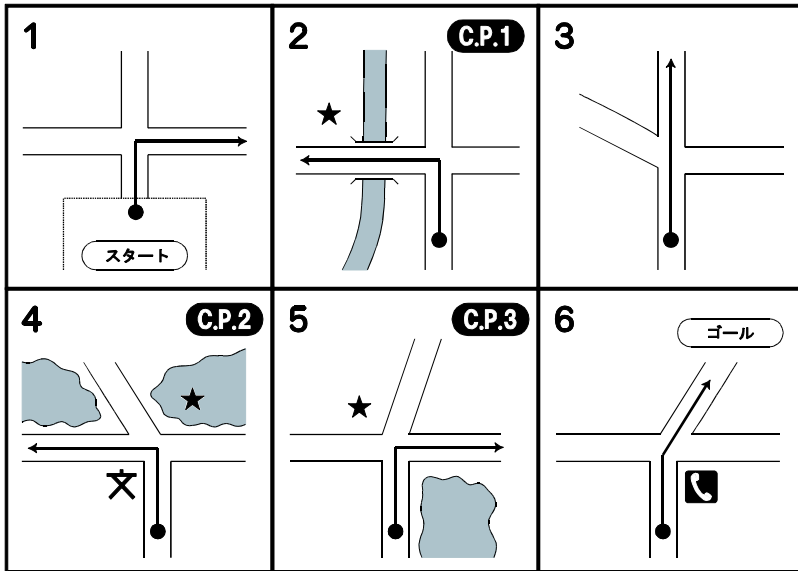
こま図に従って、班で課題を解決しながら歩きます。そして課題得点と時間得点の合計点で競うゲームです。

2 進み方

- こま図の番号順に進みます。
- の印は、今いる場所を示しています。そこから矢印の方向に進むと、次のこま図の●の印まで進めます。
- こま図の東西南北、縮尺は一定していません。
- C.P.** はチェックポイントです。こま図の★の場所に、答えやそのヒントがあります。
- C.P.1** とこま図内に記入されていれば、解答用紙のC. P. 1の課題を解決して、答えを記入します。

3 練習問題

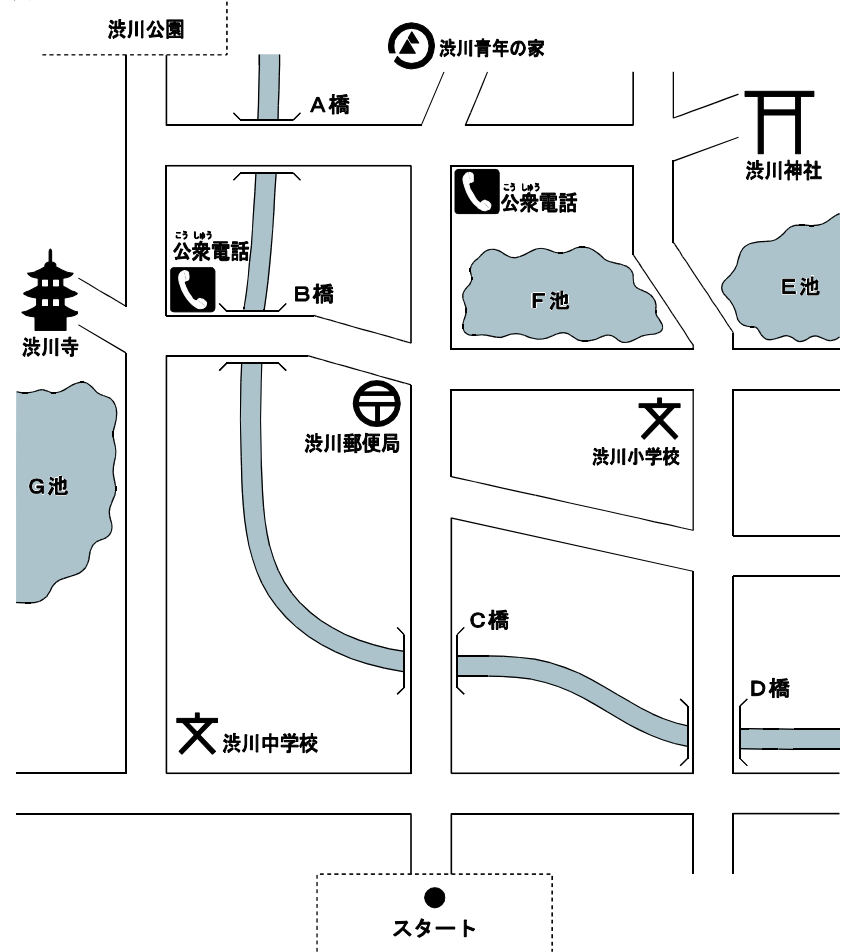
下のこま図（1～6）に従って、右の地図を進みましょう。さて、どこに着くでしょうか。



課題

- C. P. 1 この橋の名前は何か。 ()
- C. P. 2 この池の名前は何か。 ()
- C. P. 3 ここには何がありますか。 ()

4 地図



課題解答			
C. P. 1…D橋	C. P. 2…E池	C. P. 3…渋川郵便局	ゴール…渋川青年の家